



未収金目標及び具体取組内容調書

所属	契約管財局	担当・事業所名	管財部管財課賃貸グループ	債権整理番号(3ケタ)	003	債権区分	私債権	債権名	土地賃貸料
----	-------	---------	--------------	-------------	-----	------	-----	-----	-------

1. 令和6年度の修正目標(=未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例) 令和7年度修正目標=令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	A	現年度	B1	合計(過年度+現年度)	A
-----	---	-----	----	-------------	---

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「-」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数

(単位:千円)

	過年度分									現年度分						合計			
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
	ア =前年度ケ'	イ =ア-ウ (▲=増加を表す)	ウ	エ	オ	カ =イ+エ+オ	キ =エ÷ウ	ク =カ÷ア	ケ =ウ-(エ+オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' =エ'+オ'	キ' =エ'÷ウ'	ク' =カ'÷ウ'	ケ' =ウ'-(エ'+オ')	キ'' =(エ+エ') ÷(ウ+ウ')	ク'' =(カ+カ') ÷(ア+ウ')	ケ'' =ケ+ケ'
A 令和4年度実績	78,122	0	78,122	16,304	0	16,304	20.9%	20.9%	61,818	427,402	413,479	0	413,479	96.7%	96.7%	13,923	85.0%	85.0%	75,741
B 令和5年度実績	75,741	0	75,741	17,192	0	17,192	22.7%	22.7%	58,549	415,998	403,415	0	403,415	97.0%	97.0%	12,583	85.5%	85.5%	71,132
C 令和6年度修正目標	71,132	0	71,132	9,000	0	9,000	12.7%	12.7%	62,132	402,955	394,895	0	394,895	98.0%	98.0%	8,060	85.2%	85.2%	70,192
D 令和6年度実績	71,132	0	71,132	19,021	5,885	24,906	26.7%	35.0%	46,226	397,868	387,713	0	387,713	97.4%	97.4%	10,155	86.7%	88.0%	56,381
E 令和7年度計画	74,329	0	74,329	12,636	0	12,636	17.0%	17.0%	61,693	395,223	387,319	0	387,319	98.0%	98.0%	7,904	85.2%	85.2%	69,597
F 令和7年度目標	56,381	▲1	56,382	9,000	0	8,999	16.0%	16.0%	47,382	389,431	381,642	0	381,642	98.0%	98.0%	7,789	87.6%	87.6%	55,171

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	69,597	令和8年度末	65,409	令和9年度末	61,673
--------	--------	--------	--------	--------	--------

3. 令和6年度取組実績・課題・改善策など

令和6年度取組実績
<p>○過年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滞納額を一括で支払えない滞納者については、支払誓約書を徴収したうえで毎月分割で納付させた。</li> <li>毎月取納管理を行い、納付が遅れている案件については、電話及び現地訪問等の督促行為を積極的にを行い、賃貸料の納付が滞らないように努めた。</li> <li>特に高額かつ未収金回収までの整理が複雑な案件については、未収金回収業務について委任契約を締結している弁護士へ法律相談及び法的措置を含めた対応を依頼した。</li> <li>賃借人の死亡が確認された案件については、迅速に相続調査を実施し相続人と納付交渉等を進めた。</li> <li>契約解除を行った案件については、建物取去強制執行及び賃貸地売却を実施し、債権放棄及び不能欠損処分を行った。</li> <li>相続人の不在が明らかとなった案件については、相続財産清算人選任の申立てを行い滞納回収に向けた交渉を進めた。</li> </ul> <p>○現年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>納入期限より30日以内に督促状を送付した。</li> <li>督促状の納入期限を過ぎても納付がなされない案件については、電話及び現地訪問等の督促行為を積極的に行い、早期滞納解消に努めた。</li> <li>賃借人が死亡している案件については、将来の複雑な高額滞納案件とならないように相続手続き及び請求行為又は相続放棄の確認を進めた。</li> </ul>
課題と改善策
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業開始から概ね70年を経過し、当該建物の老朽化や賃借人の高齢化が進む中、生活状況の変化により本件地に居住していないケースや、相続名義変更手続きがされていないケースも増加してきている。また、相続人不在、相続人の確定が困難、相続放棄など、権利関係が複雑化しておりその対応策について法律の専門的な知識が必要となってきている。</li> </ul> <p>【改善策】</p> <p>○過年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滞納交渉が進まない案件については、委任弁護士からの督促を実施し法的対応についても検討を行う。</li> <li>訴訟や相続財産清算人選任など法的対応が必要な案件について、委任弁護士からの助言を受けながら法的アプローチを図る。</li> </ul> <p>○現年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>納付書が届かない案件については、相続が発生している可能性を考慮し、迅速に相続調査を行う。</li> </ul>

4. 令和7年度取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(=未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
<p>○過年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未収金回収業務について弁護士と委任契約を締結し、滞納案件ごとの法律相談及び法的措置を含めた対応を実施する。</li> <li>賃借人の死亡が確認された案件については、迅速に相続調査を実施し相続人へ納付交渉等を行う。</li> <li>相続放棄がされている等相続人が不在となった案件については、費用対効果を検討したうえで相続財産清算人の申立てを行い、未収金の回収を図る。</li> </ul> <p>○現年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>納入期限より30日以内に督促状を送付する。督促状の納入期限後も未済がなされない案件については、すみやかに電話連絡を実施し、必要に応じて催告書送付及び現地訪問による納付交渉等を実施する。</li> <li>納付書が返戻される場合や登録電話番号が不通である場合は、現地訪問及び住民票請求等により賃借人の存在を確認する。</li> <li>賃借人の死亡が確認された案件については、迅速に相続調査を実施し相続人へ納付交渉等を行う。</li> </ul>
未収金の発生抑制に向けた取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>口座振替登録を勧奨するために納入通知書送付時に口座振替の案内文書を同封する。</li> <li>電話連絡や催告書送付、現地訪問といった納付交渉の早期実施を徹底する。</li> </ul>

5. 令和6年度決算見込における未収金実績の状況 (区分別の未収債権の件数・未収金残高、債務者数)

… 未収債権の件数及び債務者数については、色付け箇所のみ、整数で入力。未収金残高については、色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数で入力

(残高の単位:千円)

分類	回収債権									整理債権						合計		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮			
未収債権の件数	0	770	201	0	0	170	0	0	0	1,141	0	0	0	0	13	0	13	1,154
未収金残高	0	27,049	9,538	0	0	6,316	0	0	0	42,903	0	0	0	0	3,323	0	3,323	46,226
現年度未収債権の件数	0	146	16	0	0	62	0	0	0	224	0	0	0	0	0	0	0	224
現年度未収金残高	0	5,994	946	0	0	3,215	0	0	0	10,155	0	0	0	0	0	0	0	10,155

【未収債権の件数及び債務者数並びに分類の考え方】

① 未収債権の件数は、原則、測定件数とする。測定をまとめて行っている場合は、事実上の債権の件数とする。(例:毎月の定期給付債権の場合、1人の債務者につき、1年間で12件の債権が発生していることとなる。)

② 1つの債権に、連帯債務者や連帯保証人が設定されている場合であっても、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考え、3の表は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。

③ 債務者が死亡した場合で、相続人が複数いる場合、相続割合に従い、債務が相続される(債務が分割して相続される)が、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考える。

それぞれの相続人で、未収債権の状況が異なる場合、3の表は、相続された債務額の最も大きい相続人の状況で分類する。同額の場合は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。

※ 未収債権の進捗状況 … ① → ② → ③ ⇒ 回収債権: (④ → ⑤) 又は ⑥ 又は ⑦ 又は ⑧ 又は ⑨ / 整理債権: (⑩ 又は ⑪ 又は ⑫ → ⑬) → ⑭ 又は ⑮ → ⑯

令和6年度  
決算見込に  
おける  
債務者数

168

人

令和6年度決算見込における  
未収債権の件数(過年度+現年度)

1,378

令和6年度決算見込における  
未収金残高(過年度+現年度)  
= 上記2のD(令6実績)のケ

56,381

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	契約管財局	担当・事業所名	管財部管財課管財グループ	債権整理番号(3ケタ)	004	債権区分	私債権	債権名	一般競争入札による市有地貸付に係る土地賃貸料
----	-------	---------	--------------	-------------	-----	------	-----	-----	------------------------

1. 令和6年度の修正目標(=未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例) 令和7年度修正目標=令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	A	合計(過年度+現年度)	B1
-----	----	-----	---	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「-」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数

(単位:千円)

	過年度分									現年度分						合計			
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
	ア =前年度ケ'	イ =ア-ウ (▲=増加を表す)	ウ	エ	オ	カ =イ+エ+オ	キ =エ÷ウ	ク =カ÷ア	ケ =ウ-(エ+オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' =エ'+オ'	キ' =エ'÷ウ'	ク' =カ'÷ウ'	ケ' =ウ'-(エ'+オ')	キ'' =(エ+エ') ÷(ウ+ウ')	ク'' =(カ+カ') ÷(ア+ウ')	ケ'' =ケ+ケ'
A 令和4年度実績	678	0	678	0	0	0	0.0%	0.0%	678	0	0	0	0	-	-	0	0.0%	0.0%	678
B 令和5年度実績	678	0	678	0	0	0	0.0%	0.0%	678	0	0	0	0	-	-	0	0.0%	0.0%	678
C 令和6年度修正目標	678	0	678	678	0	678	100.0%	100.0%	0	0	0	0	0	-	-	0	100.0%	100.0%	0
D 令和6年度実績	678	0	678	0	0	0	0.0%	0.0%	678	0	0	0	0	-	-	0	0.0%	0.0%	678
E 令和7年度計画	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	0	-	-	0	-	-	0
F 令和7年度目標	678	0	678	678	0	678	100.0%	100.0%	0	0	0	0	0	-	-	0	100.0%	100.0%	0

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	0	令和8年度末	0	令和9年度末	0
--------	---	--------	---	--------	---

3. 令和6年度の取組実績・課題・改善策など

令和6年度の取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年2月、公用請求により現住所が判明し、現住所宛に債務残高通知を送付するが、反応なし。</li> <li>令和7年3月、現住所に訪問するが、不在のため債務残高通知を郵便ポストに投函。近隣住民への聞き取りを行い、昼間は仕事をしていることを確認。</li> </ul>
課題と改善策
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現住所は把握できたが、債務者との接触が出来ていない。</li> </ul> <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現住所に夜間訪問し、債務者との接触を図る。</li> </ul>

4. 令和7年度の取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(=未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>公用請求を定期的に行い、債務者が住所変更した場合等に備える。</li> <li>現住所に夜間訪問し、債務者との接触を図る事で連絡先等を聴取る。</li> <li>今後の徴収方法について交渉できる機会を設ける。</li> <li>債権保全のためにどのような手法があるか、弁護士相談を行う。</li> </ul>
未収金の発生抑制に向けた取組



未収金目標及び具体取組内容調書

所属	契約管財局	担当・事業所名	管財部管財課管財グループ	債権整理番号(3ケタ)	005	債権区分	私債権	債権名	番号004に係る賃料相当損害金
----	-------	---------	--------------	-------------	-----	------	-----	-----	-----------------

1. 令和6年度の修正目標(=未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例) 令和7年度修正目標=令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	A	合計(過年度+現年度)	B1
-----	----	-----	---	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「-」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数

(単位:千円)

	過年度分									現年度分						合計			
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
	ア =前年度ケ'	イ =ア-ウ (▲=増加を表す)	ウ	エ	オ	カ =イ+エ+オ	キ =エ÷ウ	ク =カ÷ア	ケ =ウ-(エ+オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' =エ'+オ'	キ' =エ'÷ウ'	ク' =カ'÷ウ'	ケ' =ウ'- (エ'+オ')	キ'' =(エ+エ') ÷(ウ+ウ')	ク'' =(カ+カ') ÷(ア+ウ')	ケ'' =ケ+ケ'
A 令和4年度実績	5,821	0	5,821	0	0	0	0.0%	0.0%	5,821	0	0	0	0	-	-	0	0.0%	0.0%	5,821
B 令和5年度実績	5,821	0	5,821	0	0	0	0.0%	0.0%	5,821	0	0	0	0	-	-	0	0.0%	0.0%	5,821
C 令和6年度修正目標	5,821	0	5,821	5,821	0	5,821	100.0%	100.0%	0	0	0	0	0	-	-	0	100.0%	100.0%	0
D 令和6年度実績	5,821	0	5,821	0	0	0	0.0%	0.0%	5,821	0	0	0	0	-	-	0	0.0%	0.0%	5,821
E 令和7年度計画	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	0	-	-	0	-	-	0
F 令和7年度目標	5,821	0	5,821	5,821	0	5,821	100.0%	100.0%	0	0	0	0	0	-	-	0	100.0%	100.0%	0

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	0	令和8年度末	0	令和9年度末	0
--------	---	--------	---	--------	---

3. 令和6年度取組実績・課題・改善策など

令和6年度取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年2月、公用請求により現住所が判明し、現住所宛に債務残高通知を送付するが、反応なし。</li> <li>令和7年3月、現住所に訪問するが、不在のため債務残高通知を郵便ポストに投函。近隣住民への聞き取りを行い、昼間は仕事をしていることを確認。</li> </ul>
課題と改善策
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現住所は把握できたが、債務者との接触が出来ていない。</li> </ul> <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現住所に夜間訪問し、債務者との接触を図る。</li> </ul>

4. 令和7年度取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(=未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>公用請求を定期的に行い、債務者が住所変更した場合等に備える。</li> <li>現住所に夜間訪問し、債務者との接触を図る事で連絡先等を聴取る。</li> <li>今後の徴収方法について交渉できる機会を設ける。</li> <li>債権保全のためにどのような手法があるか、弁護士相談を行う。</li> </ul>
未収金の発生抑制に向けた取組

5. 令和6年度決算見込における未収金実績の状況 (区分別の未収債権の件数・未収金残高、債務者数)

… 未収債権の件数及び債務者数については、色付け箇所のみ、整数で入力。未収金残高については、色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数で入力

(残高の単位:千円)

分類	回収債権									整理債権						合計		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮			
未収債権の件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
未収金残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,821	0	0	0	0	0	0	5,821
現年度未収債権の件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現年度未収金残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【未収債権の件数及び債務者数並びに分類の考え方】

① 未収債権の件数は、原則、測定件数とする。測定をまとめて行っている場合は、事実上の債権の件数とする。(例:毎月の定期給付債権の場合、1人の債務者につき、1年間で12件の債権が発生していることとなる。)

② 1つの債権に、連帯債務者や連帯保証人が設定されている場合であっても、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考え、3の表は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。

③ 債務者が死亡した場合で、相続人が複数いる場合、相続割合に従い、債務が相続される(債務が分割して相続される)が、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考える。

それぞれの相続人で、未収債権の状況が異なる場合、3の表は、相続された債務額の最も大きい相続人の状況で分類する。同額の場合は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。

※ 未収債権の進捗状況 … ① → ② → ③ ⇒ 回収債権: (④ → ⑤) 又は ⑥ 又は ⑦ 又は ⑧ 又は ⑨ / 整理債権: (⑩ 又は ⑪ 又は ⑫ → ⑬) → ⑭ 又は ⑮ → ⑯

令和6年度  
決算見込に  
おける  
債務者数

1  
人

令和6年度決算見込における  
未収債権の件数(過年度+現年度)

1

令和6年度決算見込における  
未収金残高(過年度+現年度)  
= 上記2のD(令6実績)のケ

5,821

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	契約管財局	担当・事業所名	契約部契約課	債権整理番号(3ケタ)	006	債権区分	私債権	債権名	清掃業務委託長期継続の契約解除による違約金
----	-------	---------	--------	-------------	-----	------	-----	-----	-----------------------

1. 令和6年度の修正目標(=未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例) 令和7年度修正目標=令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	-	現年度	-	合計(過年度+現年度)	-
-----	---	-----	---	-------------	---

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「-」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数

(単位:千円)

	過年度分									現年度分						合計			
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
	ア =前年度ケ'	イ =ア-ウ (▲=増加を表す)	ウ	エ	オ	カ =イ+エ+オ	キ =エ÷ウ	ク =カ÷ア	ケ =ウ-(エ+オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' =エ'+オ'	キ' =エ'÷ウ'	ク' =カ'÷ウ'	ケ' =ウ'- (エ'+オ')	キ'' =(エ+エ') ÷(ウ+ウ')	ク'' =(カ+カ') ÷(ア+ウ')	ケ'' =ケ+ケ'
A 令和4年度 実績	0	0				0	-	-	0				0	-	-	0	-	-	0
B 令和5年度 実績	0	0				0	-	-	0				0	-	-	0	-	-	0
C 令和6年度 修正目標	0	0				0	-	-	0				0	-	-	0	-	-	0
D 令和6年度 実績	0	0	0	0	0	0	-	-	0	78	0	0	0	0.0%	0.0%	78	0.0%	0.0%	78
E 令和7年度 計画		0				0	-	-	0				0	-	-	0	-	-	0
F 令和7年度 目標	78	78	0	0	0	78	-	100.0%	0	78	0	0	0	0.0%	0.0%	78	0.0%	50.0%	78

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末		令和8年度末		令和9年度末	
--------	--	--------	--	--------	--

3. 令和6年度の取組実績・課題・改善策など

令和6年度の取組実績
・破産手続申立、開始 ・破産手続きの進捗状況を適宜確認し、手続きが完了した際には不納欠損処理を検討する。
課題と改善策
【課題】 . . . 【改善策】 . . .

4. 令和7年度の取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(=未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・破産手続きの進捗状況を適宜確認し、手続きが完了した際には不納欠損処理を検討する。
未収金の発生抑制に向けた取組
・納入期限後の未収金が発生している場合は、納入義務者の支払状況を都度確認する。

